参考配布：
筑波学園研究都市記者会
文部科学記者会
科学記者会

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト
第３回ナノテクノロジー総合シンポジウム（JAPAN NANO 2005）開催について

平成１７年１月１２日

独立行政法人物質・材料研究機構

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンターでは、我が国産学官の研究者への情報提供等の支援と分野を超えた研究交流を積極的に推進しています。当センターではこのような研究交流推進の場として、昨年に引き続き第３回ナノテクノロジー総合シンポジウム（JAPAN NANO 2005）を開催する運びとなりました。本シンポジウムでは、ノーベル物理学賞受賞者のローラー先生（スイス）による基調講演、九州大学新海征治教授による特別講演を始め、ナノテクノロジー研究の第一線でご活躍をしておられる国内外の研究者による招待講演を頂くことにより、最先端のナノテクノロジー研究開発の状況を紹介致します。また、このような招待講演に加え、今回はナノテクノロジーの将来を担う若手研究者に最新の研究成果をポスター発表（ショートプレゼンテーション付）して頂き、広い範囲の方にナノテクノロジー研究のトピックスと研究動向を知って頂く場となる事を期待いたします。

開催日時：2005 年 2 月 21 日（月）～22 日（火）
場　　所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明）
使用言語：英語（英日同時通訳付）
主　　催：文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター
（運営：（独）物質・材料研究機構）
共　　催：（独）情報通信研究機構、（独）科学技術振興機構、（独）日本学術振興会、
（独）理化学研究所、（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構、
（独）産業技術総合研究所
後　　援：総務省、厚生労働省、経済産業省、（社）日本経済団体連合会
参 加 費：無料。ただし、交流会（2 月 21 日（月）夕刻開催）への参加費は 2,000 円。
参加申込方法：
シンポジウム及び交流会への参加をご希望の方は下記 URL よりお申込ください。
http://www.nanonet.go.jp/

本件についてご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。
文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター
岡田　勝行（電話　03-5404-3280）

＜参考＞

開　催　趣　旨

ナノテクノロジー・材料分野は、科学技術基本計画において、もっとも優先的に研究資源を配分すべき重点４分野の一つで、広範な分野に大きな波及効果をもたらす基盤として位置づけられています。またナノテクノロジーは基盤技術として、他の分野においてもその重要性が益々高まっています。さらに、分野を融合した領域にもナノテクノロジーの技術革新が期待されており、この研究開発のためには、産学官の広範な分野の研究者の国際的な連携が欠かせないものとなっています。

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンターでは、昨年、我が国における中長期的なナノテクノロジー研究開発の現状を紹介する第２回ナノテクノロジー総合シンポジウムを開催しました。今回の第３回ナノテクノロジー総合シンポジウム(JAPAN NANO 2005)は、国際シンポジウムとして国内外で行われている広範で多様な第一線の研究開発の紹介を集中的に行い、効果的な学術・技術交流、情報交換の場とすることにしました。

今回のシンポジウムでは、ナノテクノロジー主要分野の国内外のキーパーソンにナノテクノロジー研究開発の最前線をレビューしていただくとともに、ナノテクノロジーの将来を担う若手研究者に最新の研究成果をポスター発表（ショートプレゼンテーション付）していただき、ナノテクノロジーの萌芽研究から根幹をなす研究開発までを紹介します。

文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト

第３回ナノテクノロジー総合シンポジウム（JAPAN NANO 2005）プログラム

開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明）

February 21st, 2005,　Reception Hall A, B
２００５年２月２１日（月）会議棟１階レセプションホール A,B

10:00-12:10 **【Opening Session /オープニングセッション】**

<Opening Remark 1 /挨拶>

Prof. Teruo Kishi (Chair Person/ National Institute for Materials Science/
Nanotechnology Researchers Network Center of Japan)

岸　輝雄（組織委員長、物質・材料研究機構理事長、文部科学省ナノテクノロジー
総合支援プロジェクトセンター長）

<Opening Remark 2 /挨拶>

Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology/文部科学省

<Plenary Session /プレナリーセッション>

Dr. Heinrich. Rohrer（Nobel Laureate, Switzerland）

“Nano is Different”

Prof. Seiji Shinkai (Kyushu University, JAPAN)

新海征治（九州大学/ Kyushu University, Japan）

“How Can We Integrate "Intelligence" into Molecules?”

「知性をもつ分子システムの創製」

12:10-13:10　Lunch /昼　食

13:10-15:10**【Nano Bio Session /ナノバイオセッション】**

Dr. Andrzej Joachimiak（Argonne National Laboratory, USA）

“Structural Genomics: Toward Complete Structure and Function of the Proteome”

「タンパク機構の網羅的解明をめざす構造ゲノム科学」

Prof. Dr. Wolfgang Baumeister　（Max-Planck-Institute of Biochemistry, Germany）

“Mapping Molecular Landscapes inside Cells”

「細胞内における生体超分子の局在地図をつくる」

Prof. Yoshinobu Baba（Nagoya University, Japan）

馬場嘉信（名古屋大学）

“Nanobiotechnology for Genomics, Proteomics, and Future Personalized Medicine ”

「ナノバイオテクノロジー：ゲノミクス・プロテオミクス・テーラーメード医療への展開」

15:10-15:40　Short Break /休　憩

15:40-16:40【**Short Oral Presentation /ポスター発表ショートプレゼンテーション**】
（One minute each /各 1 分）

総務省、厚生労働省、文部科学省、経済産業省で実施のプロジェクトでの研究開発状況のポスター発表の紹介（約 60 件）

17:00-19:00【**Poster Sessions /ポスターセッション**】
（Conference Room 607, 608 on the 6th floor /会議棟６階６０７、６０８会議室）
Latest achievements by the young scientists supported by Japanese government fund project
我が国の施策にもとづくプロジェクトを実施している若手研究者の最新研究成果発表
【Nano Physics・Metrology, IT Device /ナノ物理・計測、IT デバイス分野】
【Nano Materials・Process /ナノ材料・プロセス分野】
【Nano Bio /ナノバイオ分野】

For further information about the poster sessions, please refer to http://www.nanonet.go.jp/
２月２１日のポスター発表テーマ詳細は *http://www.nanonet.go.jp/*

17:00-19:00【**Mixer /交流会**】
（Conference Room 605, 606 on the 6th floor /会議棟６階６０５、６０６会議室）
The Mixer and the Poster Sessions are held simultaneously.
交流会とポスター発表は同時開催です。

February 22nd, 2005,　Reception Hall A , B
２００５年２月２２日（火）会議棟１階レセプションホール

10:00-12:00【**Nano Physics Session /ナノ物理セッション**】

Prof. Lars Samuelson (Lund University, Sweden)
“Growth and Physics of Semiconductor Nano-Wires and Dots”
「半導体ナノワイヤおよびドットの形成と物性」

Prof. Tsuneya Ando（Tokyo Institute of Technology, Japan）
安藤 恒也（東京工業大学）
Physics of Carbon Nanotube
「カーボンナノチューブの物理」

Prof. David Awschalom (University of California-Santa Barbara, USA)
“Spin Physics and Electronics”
「スピンの物理およびエレクトロニクスへの展開」

12:00-13:00　Lunch /昼　食
13:00-15:00【**Nano Materials Session /ナノ材料セッション**】 **Dr. Stephen Freiman**（Materials Science and Engineering Laboratory, NIST, USA） “Mechanical Properties at the Nanoscale” 「ナノスケールでの力学」 **Prof. Makoto Fujita** (The University of Tokyo, Japan) **藤田　誠**　（東京大学） “Molecular Self-Assembly through Coordination” 「配位結合を活用した自己組織化分子システム」 **Dr. Stuart S P Parkin,**（IBM Almaden Research Center, USA） “Novel Magnetic Memories Using Spintronic Materials and Devices” 「スピントロニクス材料とデバイスを用いた新規な磁気メモリー」
15:00-15:30　Short Break /休　憩
15:30-17:30【**Nano IT Device Session /ナノ IT デバイスセッション**】 **Prof. Alfred Forchel** (Wuerzburg University, Germany) “Recent Advances on Light Matter Interaction Effects in Semiconductor Quantum Dot Lasers” 「量子ドットレーザにおける光物質相互作用効果の最近の展開」 **Prof. Zhenan Bao** (Satnford University, USA) “Progress in Plastic Flexible Electronics (tentative)” 「プラスチックフレキシブルエレクトロニクスの進展（仮題）」 **Prof. Toshiro Hiramoto** (The University of Tokyo, Japan) **平本俊郎**（東京大学） “Prospects of Silicon Nano Electronics” 「シリコンナノエレクトロニクスの展望」
17:30-17:40【**Closing Remark** /挨拶】 **Prof. Kenichi Iga** (Organizing Committee, Japan Society for the Promotion of Science) **伊賀健一**（組織委員、日本学術振興会）

東京ビッグサイトへのアクセス（できるだけ公共交通機関をご利用ください）

りんかい線 国際展示場駅下車徒歩５分

○大崎駅(JR) ←13分→ 国際展示場駅 ←5分→ 新木場駅(JR、営団地下鉄)

※大崎から新宿・大宮方面へ駅埼京線相互直通運転

ゆりかもめ(新交通) 国際展示場正門駅下車すぐ

○新橋駅(JR、営団・都営地下鉄) ←22分→ 国際展示場正門駅

水上バス

○日の出桟橋(JR浜松町駅徒歩7分) ←20分→有明客船バスターミナル(下船すぐ)

都営バス

○東16系統(豊洲駅前経由)：東京駅八重洲口←40分→東京ビッグサイト(東棟前)←→東京テレポート駅前

○海01系統(豊洲駅前経由)：門前仲町 ←30分→ 東京ビッグサイト

○虹01系統： 浜松町駅 ←30分→ 東京ビッグサイト

空港バス (リムジンバス・京浜急行バス)

○羽田空港 ←30分→ 東京ビッグサイト

○成田空港 ←70分→ 東京ビッグサイト

○東京シティエアターミナル(TCAT) ←20分→東京ビッグサイト

※イベント開催時のみ運行の使もありますので、ご確認ください。

その他直行バス (京浜急行バス)

○横浜駅東口←約52分→東京ビッグサイト

車 (首都高速利用の場合)

○都心から (11号台場線・レインボーブリッジ経由)
→お台場ランプから約5分

○大井・羽田方面から (湾岸線)
→13号地ランプから約5分

○千葉・湾西方面から (湾岸線)
→有明ランプから約5分